

S-Stage KIT 取扱説明書

- ・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気づきの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

商品番号	0 1 0 5 5 0 5 H (F-KIT)
スーパーカブ 5 0	C50 - 0200001 ~ - 2100001 ~ AA01 - 1000001 ~
但し	C50 - N000002 ~ V488897 - Z000002M ~ Z069126M - 3000001 ~ 4223783 - 5000005 ~ は除く
リトルカブ	C50 - 4300001 ~ AA01 - 3000001 ~

▲ 使用燃料についてのご注意 ▲

SステージKITは、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。KIT取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

▲ スパークプラグについてのご注意 ▲

スパークプラグは必ずCR8HSA (NGK) または、U24FSR-U (DENSO) に交換し、スパークプラグ電極部の焼け具合により個々に合った番数を決定して下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。この製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。ボルト、ナット、ロックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。ノーマルキャブレターを装着される方は、エアクリーナーボックスおよび、エアークリーナーエレメントは取り外さないで下さい。キャブレターを交換される方は、個々に合ったセッティングを行って下さい。この事柄を無視した場合、エンジントラブルが起これ、重大な事故につながる恐れがあります。燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。セルモーター始動による車両につきましても、バッテリーが満充電の場合でもセル始動が困難になる場合があります。

▲ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落の原因となります。)
- シリンダーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行って下さい。
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

▲ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませよう、お願い致します。

Lesson

ボルトとナットは反時計方向へ回すと緩み、時計方向へ回すと締まる。

ネジを締める場合は最初から工具を使用せず指で締まるまで締めましょう。1～2回転でとまる場合は、ネジが斜めに入っている場合がありますので注意して下さい。

ネジを緩めるということは、締まっている状態から左へ3～4回転回すことをいい、取り外すということは左へネジが取れるまで回すことをいう。

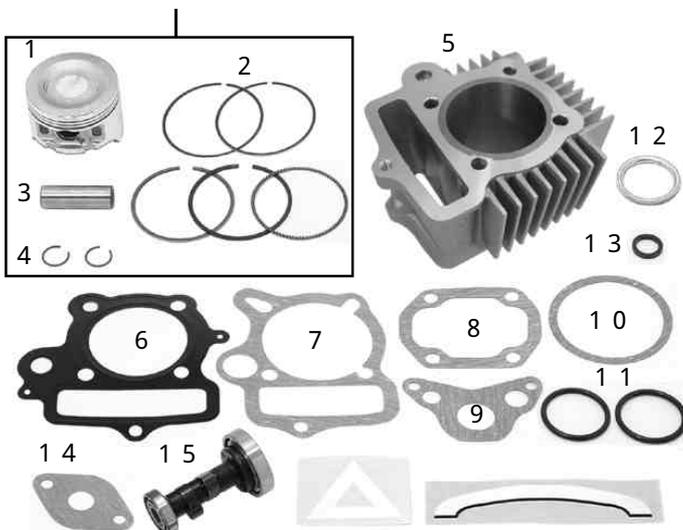
ネジを締めるということは、ネジが緩まないようにする事を締めるといえます。その目安をボルトごとに折れない・緩まない数値で表したのが締め付けトルクです。この説明書ではPL法（製造物責任法）によりトルクを記載していますが、トルクレンチを用意することの出来ない人は折れない・緩まない力で締められるのであれば試してみてください。但し、当社では責任は負いません。トルクレンチが無くてもどれぐらいの力で締めると折れるのか・緩むのかは自分自身の経験と勘でしか補えません。

工具を正しく使用しない場合、ボルト・ネジ等のかかり部分が破損する場合があります。

キット内容

01 02 517

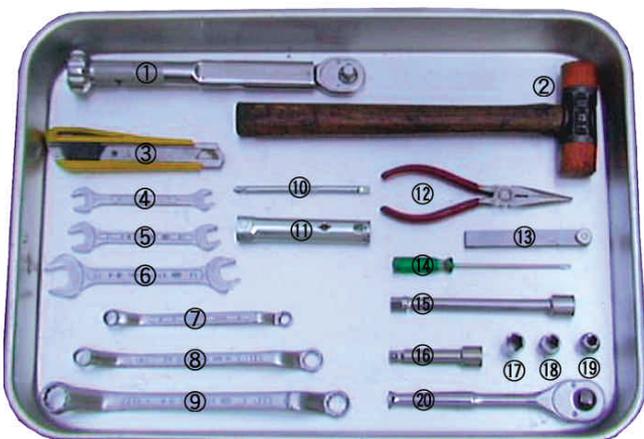
ピストンキット



番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	ピストン	1	13101 NSH T00	1
2	ピストンリング	1	01 15 014	1
3	ピストンピン 13×36	1	13111 GEF T00	1
4	ピストンピンサークリップ	2	000 02 120	6
5	シリンダー	1	01 01 0241H	1
6	シリンダーヘッドガスケット	1	12251 GFL T10	1
7	シリンダーガスケット	1	000 13 054	2
8	ヘッドカバーガスケット	1	000 13 049	2
9	右サイドカバーガスケット	1	000 13 050	2
10	左サイドカバーガスケット	1	000 13 051	2
11	タペットキャップOリング	2	000 13 052	4
12	エキゾーストパイプガスケット	1	000 13 046	2
13	ラバーパッキン	1	000 13 048	2
14	インレットパイプガスケット	1	03 005 0264	2
15	カムシャフト	1	01 08 033	1

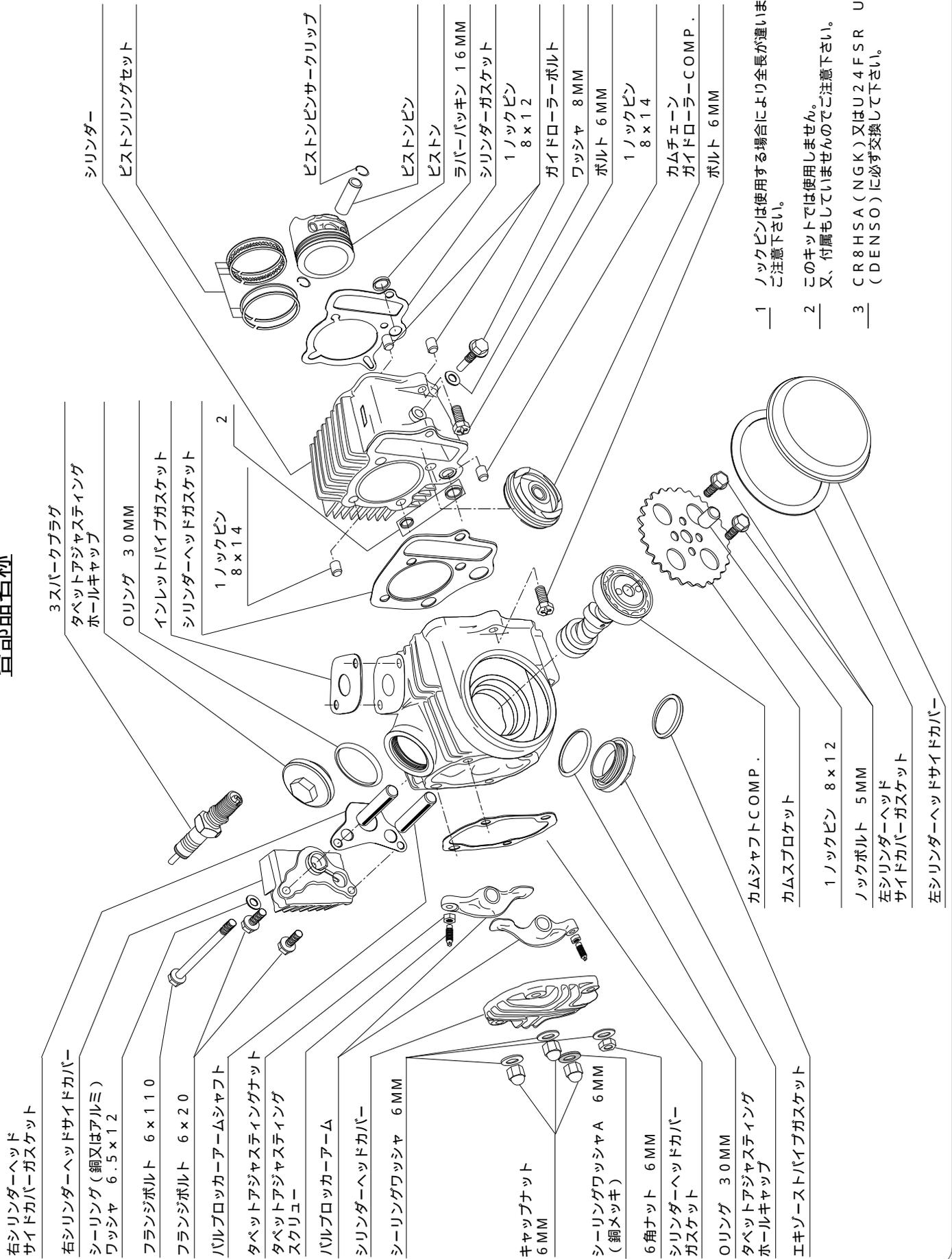
補修パーツはリペア品番にてご発注下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品にてご注文下さいませよう願ひ致します。

取り付けに使用する工具等



1	トルクレンチ
2	プラスチックハンマー
3	カッターナイフ
4	スパナ 10 12
5	スパナ 12 14
6	スパナ 14 17
7	メガネレンチ 10 12
8	メガネレンチ 12 14
9	メガネレンチ 14 17
10	プラグレンチハンドル（車載工具）
11	プラグレンチ（車載工具）
12	ラジオベンチ
13	シクネスゲージ
14	マイナスイドライバー（極細先）
15	ジョイント（中）
16	ジョイント（小）
17	ボックスレンチ 14 mm
18	ボックスレンチ 12 mm
19	ボックスレンチ 10 mm
20	ラチェットレンチ

各部品名称



右シリンダーヘッド
サイドカバーガスケット

右シリンダーヘッドサイドカバー

シーリング(銅又はアルミ)
ワッシャ 6.5 x 1.2

フランジボルト 6 x 1.10

フランジボルト 6 x 2.0

バルブロッカーアームシャフト

タペットアジャスティングナット

タペットアジャスティング
スクリュー

バルブロッカーアーム

シリンダーヘッドカバー

シーリングワッシャ 6 MM

キャップナット
6 MM

シーリングワッシャ A 6 MM
(銅メッキ)

六角ナット 6 MM

シリンダーヘッドカバー
ガスケット

オリング 3.0MM

タペットアジャスティング
ホールキャップ

エキゾーストパイプガスケット

3スパークプラグ

タペットアジャスティング
ホールキャップ

オリング 3.0MM

インレットパイプガスケット

シリンダーヘッドガスケット

1 ノックピン
8 x 1.4

シリンダー

ピストンリングセット

ピストンピンサークリップ

ピストンピン

ピストン

ラバーパッキン 16 MM

シリンダーガスケット

1 ノックピン
8 x 1.2

ガイドローラーボルト

ワッシャ 8 MM

ボルト 6 MM

1 ノックピン
8 x 1.4

カムチエーン
ガイドローラーCOMP.

ボルト 6 MM

1 ノックピンは使用する場合には全長が異なります。
ご注意ください。

2 このキットでは使用しません。
又、付属もしていませんのでご注意ください。

3 CR8HSA (NGK) 又は U24FSR U
(DENSO) に必ず交換して下さい。

カムシャフトCOMP.

カムプロケット

1 ノックピン 8 x 1.2

ロックボルト 5 MM

左シリンダーヘッド
サイドカバーガスケット

左シリンダーヘッドサイドカバー

ご走行前に

お願い

一般公道を走行される場合は小型2輪以上の免許を取得し、市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。

原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり運転者ご本人が罰せられる対象となります。キット内の原付2種マークをお貼り下さい。

使用燃料について

燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スプロケットの変更

このキットを取り付けると出力がアップし、ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて扱いにくい状態になります。また、各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあるために必ずドライブ/ドリブンスプロケットを変更し、スプロケットのハイギヤー化を各自で行って下さい。

スプロケットはキット内に含まれておりません。

スプロケットはクラッチ形式やホイールサイズにより変わります。下の表を参考にして下さい。また、体重や使用用途、好みによるものもありますので参考程度でお考え下さい。

ドリブンスプロケットを変更する時はリアホイール周りを取り外します。レーシングスタンド等で車両を確実に支え、リアホイールを浮かせて作業を行って下さい。

S ステージ Fタイプ 推奨スプロケット(体重65kg時)

車種	仕様			推奨スプロケット	
	リアホイールサイズ	クラッチ	トランスミッション	ドライブスプロケット(フロント)	ドリブンスプロケット(リア)
スーパーカブ50	17インチ	遠心	4速	16	42(ノーマル)
			3速	16	35
リトルカブ	14インチ	遠心	4速	16	41(ノーマル)
			3速	16	35

ノーマルのスプロケットから推奨スプロケットに変更すると調整だけではドライブチェーンのたるみを無くすることが出来ない、または足りなくなる場合があります。チェーンカッター等を使用してチェーンを短くする必要や、新たにドライブチェーンを用意する必要があります。

更なる性能を発揮させるために

キャブレター

S ステージの出力を有効に引き出す、各車種専用のビックボアキャブレターキット(品番:03 05 039)を取り付けることにより、更なるパワーアップが可能です。

マフラー

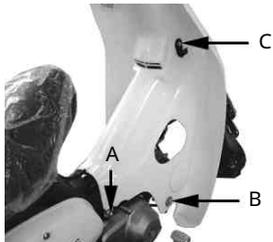
更なるパワーアップには当社製各種マフラーをご使用下さい。

オイルポンプ

出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。大量のオイルを循環し各部の冷却や負担を軽減するスーパーオイルポンプ(品番:01 16 0051)の装着をお勧めします。

オイルクーラー

エンジンに長時間の負荷を与える走行はエンジン発熱量が更に増大します。油温を適切に保ち、高温時に発生する油膜切れ等を防止するオイルクーラーキットの装着をお勧めします。



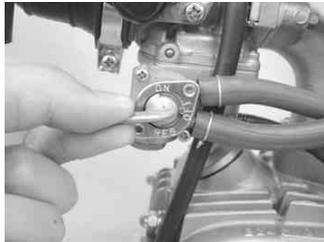
A (12mmふくろナット) B、C (10mmボルト)を反時計回りに回して外し、ワッシャ等も同時に取り外します。左側も同様に外します。

使用工具

- A : 12mmボックスレンチ & 中ロングジョイント
- B : 10mmボックスレンチ & 中ロングジョイント
- C : 10mmボックスレンチ

STD部品取り外し

1. キャブレターを取り外す

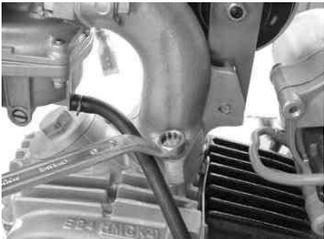


キャブレター左下部にあるガソリンロックをOFFにする。



フューエルロックの2つのネジを反時計回りに回して取り外す。

使用工具
プラスドライバー



シリンダーヘッドとインレットパイプを止めているボルト2本を反時計方向に回し取り外す。

使用工具
8mmメガネレンチ



ダクトを上につ引っ張り外します。



エアクリーナーのボルトを左右両側とも反時計方向に回し取り外す。

使用工具
10mmボックスレンチ&中ロングジョイント



ホーンの線を取り外します。



ワイヤーを束ねているベルトを外します。スロットルケーブルとチョークケーブルを取り付けたままキャブレターASSYを車体から離し左前方のウインカーに引っかけておく。

2. マフラーを取り外す



EXパイプ部のナット2個を反時計方向に回し取り外す。

使用工具
10mmスパナ



マフラー本体を止めている6角ボルトを反時計方向に回し取り外す。

使用工具
14mmメガネレンチ
リトルカブ
17mmメガネレンチ



マフラーを外側に引く様にして車体から取り外す。このとき、リング状のマフラーガスケットを無くさないように注意します。

3. スパークプラグを取り外す



プラグキャップをプラグから引っ張って取り外す。必ずキャップ部分をつかんで引っ張って外して下さい。

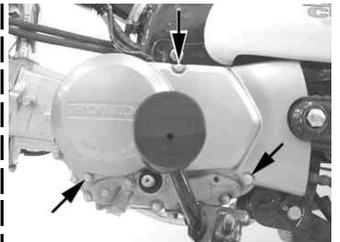
車載工具のプラグレンチを使いプラグを反時計方向に回し取り外す。

4. シリンダーヘッド左カバーを取り外す



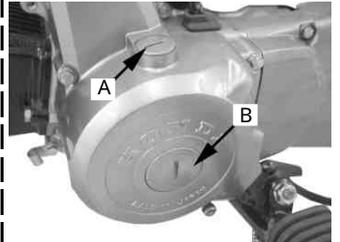
シリンダーヘッド右カバーの真ん中の6角ボルトを外すと左カバーが外れる。(ボルトを外しても外れない場合6角ボルトを2-3山ねじ込み6角ボルトの頭をハンマー等で軽くたたくと外れる)

使用工具
10mmボックスレンチ



クランクケース左カバーを止めているボルト3本を反時計方向に回し取り外す。

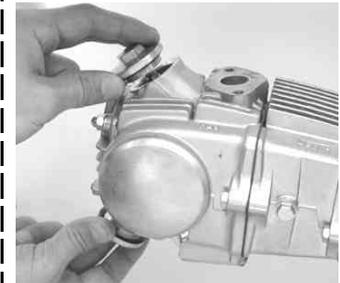
使用工具
8mmスパナ
8mmボックスレンチ&ショートジョイント



セル付の場合は、A、Bの2つを反時計回りに回して外します。

使用工具
マイナスドライバー

6. タペットキャップ2個を取り外す



タペットキャップ2個を反時計方向に回し取り外す。

使用工具
17mmメガネレンチ

7. カムスプロケットを取り外す



5. クランクケース左カバー取り外す



シフトペダルの6角ボルトを外しシフトペダルを手前側にスライドし、取り外す。

使用工具
10mmメガネレンチ



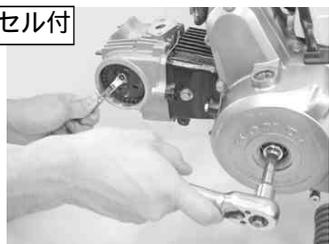
セル付



フライホイールのTマークとカムスプロケットのOマークが各切り欠きに合う様にフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。



セル付



フライホイールを固定しカムスプロケット6角ボルト2個を反時計方向に回し取り外す。

使用工具
8mmメガネレンチ
14mmメガネレンチ(フライホイール固定用)
セル付
8mmメガネレンチ
14mmボックスレンチ&中ロングジョイント



カムスプロケットを小型のマイナスドライバー等でこじてカムシャフトから外す。カムチェーンをカムスプロケットから外してカムスプロケットを取り出す。カムシャフトの中心部にはまっているノックピンを外す。

8. シリンダーヘッドサイドボルトを取り外す



シリンダーヘッドとシリンダーを止めているシリンダーヘッドサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。

使用工具
10mmスパナレンチ



ガイドローラーボルト

サイドボルト

シリンダーのガイドローラーボルトとシリンダーとクランクケース間のサイドボルトを反時計方向に回しゆるめる。

使用工具
10mmスパナレンチ&10mmメガネ

9. シリンダーヘッドカバーを取り外す



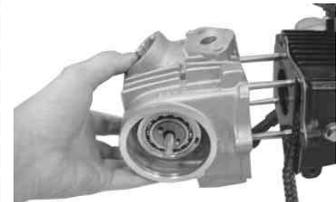
シリンダーヘッドカバーを止めているナット4個を対角の順番に反時計方向へ回し取り外す。ナット下にあるワッシャ4枚を取り外す。

使用工具
10mmメガネレンチ



ヘッドカバーを取り外す。(かたい場合はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)シリンダーヘッドにガスケットが残った場合は、スクレーパーかカッター等できれいに取り除く。

10. シリンダーヘッドを取り外す



シリンダーヘッドをシリンダーから前方へ引っ張って取り外す。(かたい場合はシリンダーヘッドをプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)ノックピン2個は再使用するので取り外しておく。

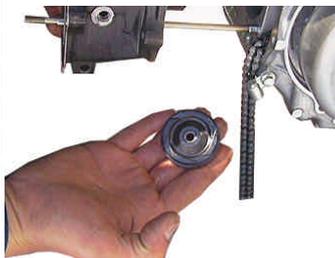
11. シリンダーを取り外す



ゆるめておいたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。



シリンダーを引っ張って取り外す。(かたい場合はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外す)



シリンダーを抜く途中でカムチェーンガイドローラーが出てくるので取り外す。

12. ピストンを取り外す



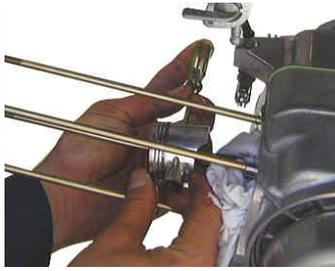
クランクケースのシリンダーホールとカムチェーン部にゴミや部品などを絶対落とさないようにウエスを詰め込む。



ピストンサークリップ

ピストンサークリップの片側を取り外す。ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れます。

使用工具
先の細いマイナスドライバー



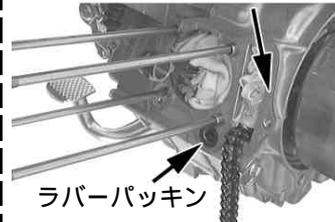
ピストンピンをピストンサークリップが付いていない方向へ取り外す。ピストンサークリップの付いている方向からマイナスドライバーで押してあげると簡単にとれます。



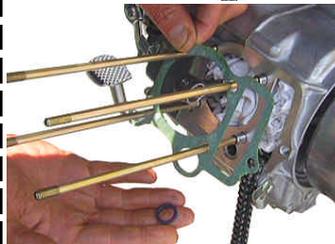
ピストンを取り外す。

13. シリンダーガスケット・ラバーパッキン・ノックピンを取り外す

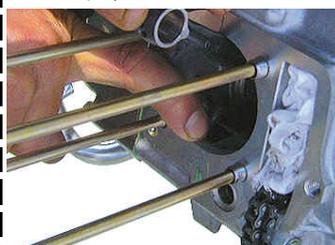
シリンダーガスケット



ラバーパッキン



ガスケットがきれいにはがれない場合クランクケースにキズを入れないようにスクレーパーやカッターできれいにはがす。この時クランクケースセンターガスケットがシリンダーベース面やシリンダーホール部にはみ出ている場合は切り取っておく。クランクケース内にゴミや部品などを絶対落とさないように。



上写真の指し部にはみ出ているガスケットがあれば切り取っておく。

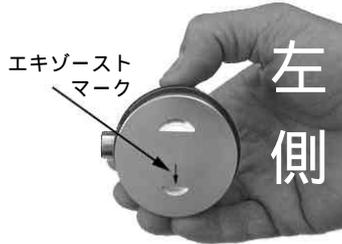
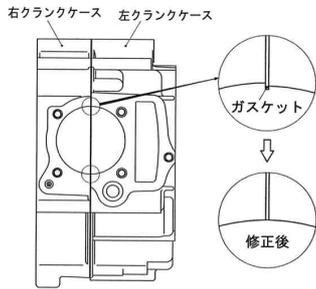
アルミシリンダー取り付け時の注意

左右クランクケースのズレ等により、シリンダーを取り付ける際、クランクケース合わせ面のスリーブ穴、丸印部分とシリンダーのスリーブの斜線部分及びケース内部で、干渉する場合があります。そのままの状態で使用するとスリーブが変形しエンジントラブルの原因となりますので必ず点検、修正して下さい。

この作業は難易度は高いけれどチョット、プロの作業に近づいた感じはありますね。

修正要領

- クランクケース内に削り粉が入らないようにしっかりとウエスを詰める。
- クランクケース合わせ面のズレの出っ張っている部分を引っ込んでいる部分と同じ高さになるまでヤスリで削ります。
- 削り取ったら削り粉がクランクケース内に入らないよう慎重にウエスを取り除く。
- ウエスを取り除いた後は、きれいなウエスをクランクケースの穴に詰めておく。
- キットの組立が終わってエンジンをアイドリングで数分かけた後、すぐにエンジンオイルを新品に交換すればOK。

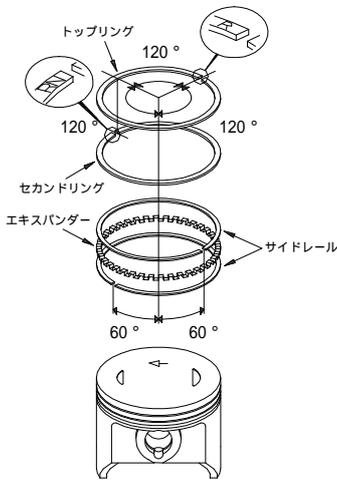


ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられます。ピストンサークリップは左側を先にはめ込みます。

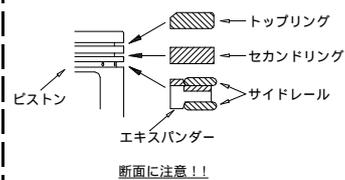
使用工具
先の細いマイナスドライバー

ピストンリングみぞにエンジンオイルを塗りピストンリングをオイルリングエキスパンダー、下オイルリングサイドレール、上オイルリングサイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。

ピストンリングの合い口を合わせる。



トップリングの上面にはRの刻印セカンドリングの上面にはRNの刻印があります。



S - StageKIT 取り付け

- ピストンを組み付ける



ピストンの片側に付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にキッチリはめ込む。この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けして下さい。



オイルリングエキスパンダーを入れる。



下オイルリングサイドレールを入れる。



上オイルリングサイドレールを入れる。



セカンドリングを入れる。



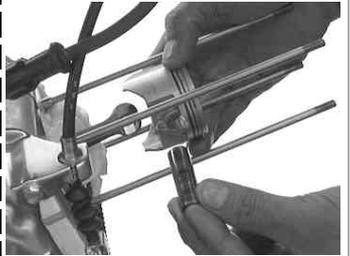
トップリングを入れる。



コンロッドのピストンピン部にオイルを塗る。



ピストンヘッド部三角マークの先を下(エキゾースト側)になるようにしてピストンを取り付ける。



コンロッドとピストンにピストンを通す。付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にキッチリはめ込む。

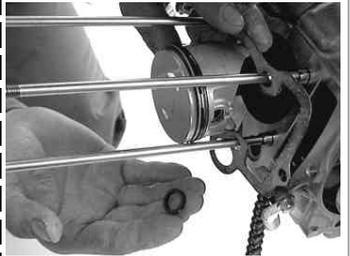


ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられます。サークリップの合い口は、切り欠き部を避けて取り付けてください。押し込み中にサークリップが外れて飛んでしまうことがあるので慎重に行ってください。目に入らぬように防護めがねなどを着用して下さい。

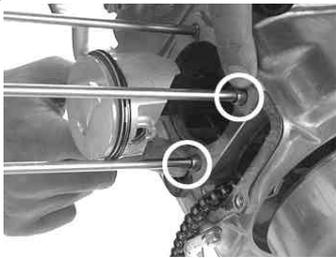
詰めていたウエスを取り外す。

- シリンダーの取り付け

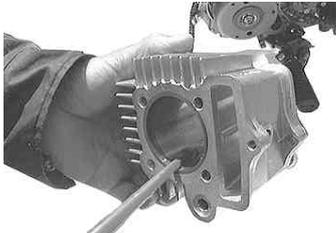
シリンダー-ガスケット面のシリンダー側とクランクケース側をシンナー等で脱脂する。



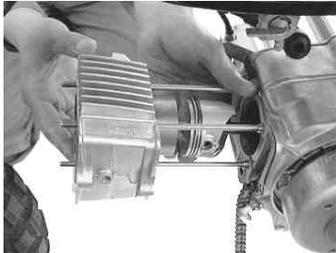
シリンダー-ガスケットとラバーパッキングを取り付ける。



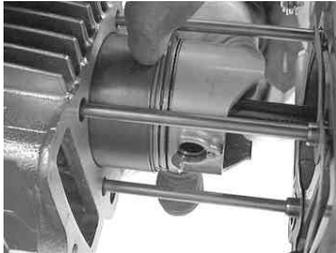
ノックピンB (全長12mm) が付いているか確認。



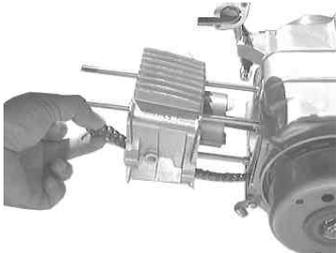
キットのシリンダー内にエンジンオイルを塗布し指で均等に塗り広げる。



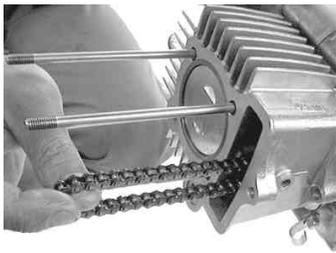
シリンダーを入れていく。



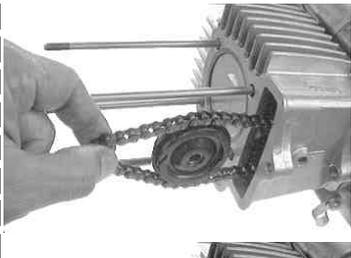
シリンダーをピストンリングの合い口がずれない様しながら指で押し少しずつはめる。ここは難易度が高いです。



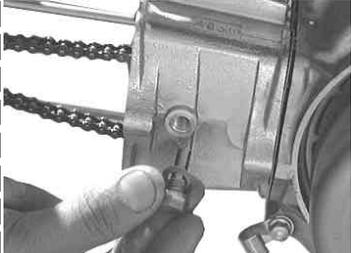
リングがシリンダーに入ったらカムチェーンをシリンダーに通しシリンダーをクランクケースにはめる。



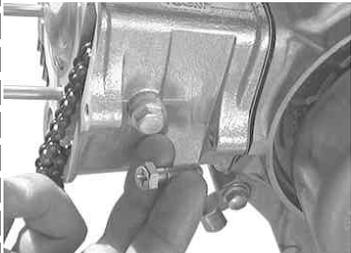
カムチェーンを引っ張りながらガイドローラーをつける。



シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイドローラーのセンターが合う様に押し込む。



ガイドローラーボルトを取り付ける。(指で締まる程度まで仮止め)



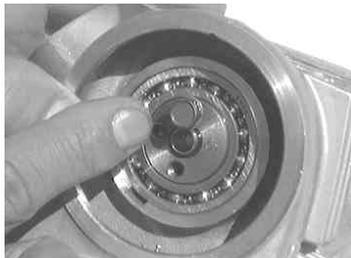
シリンダーサイドボルトを取り付ける。(指で締まる程度まで仮止め)

3. カムシャフト交換

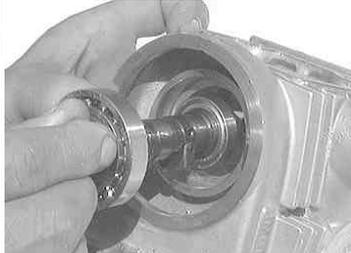


シリンダーヘッドに組み込まれているロッカーアームのタベットナットを緩め、タベットスクロを反時計回りに回してタベットナットとタベットスクロを一緒に外す。

使用工具
9mmメガネレンチ



カムシャフトにカムスプロケットボルトを取り付け、引っ張るかプラスチックハンマーでヘッドを軽くたたくと抜けてくるので無理に引っ張らずカムシャフトを回しながら取り外す。



キット内のカムシャフトを逆の手順で取り付ける。カムシャフト・カムシャフトベアリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。入りにくくてもハンマー等でたたかず手を入れる。

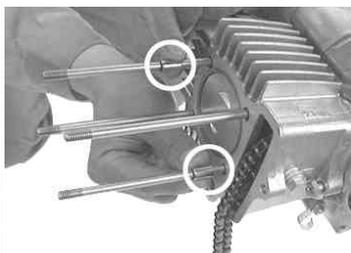


ノーマルカムのノックピンをキットのカムに取り付ける。



4. シリンダーヘッド取り付け

シリンダーヘッド面とシリンダー上面をシンナー等で脱脂する。



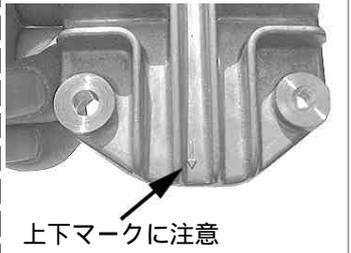
シリンダーヘッドをカムチェーンとスタッドボルトを通して取り付け。



カムチェーンはシリンダーの方に落ちないようにカムシャフトの真ん中の穴にドライバー等を入れてカムチェーンを止めておく。



シリンダーヘッドカバーのガスケットとヘッドカバーを取り付ける。



上下マークに注意
矢印は下の方向です。



銅ワッシャ
ヘッドカバーのワッシャとナットを取り付ける。
(エンジンを前から見て左下が銅ワッシャ残りの3つは鉄ワッシャ右下が六角ナット残りの3つがふくろナット)

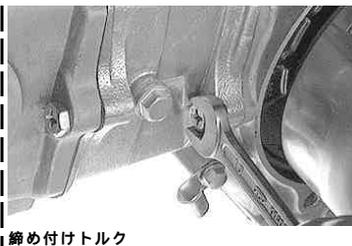
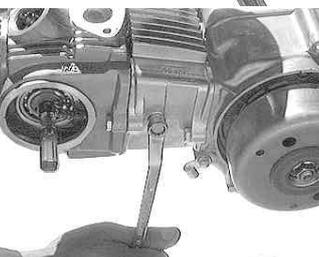


ヘッドナットを均等に締め付ける。
(トルクレンチがない場合は対角に少しずつ
かり締める)
締め付けトルク 1.2 N・m
(1.2 kgf・m)

使用工具
10mmメガネレンチ



ヘッドサイドボルトを取り付ける。先に仮止め
していたガイドローラーボルトとシリンダーサ
イドボルトを締め付ける。
使用工具
10mmスパナレンチ
10mmメガネレンチ



締め付けトルク
ガイドローラーボルト
10 N・m (1.0 kgf・m)
サイドボルト上下
10 N・m (1.0 kgf・m)

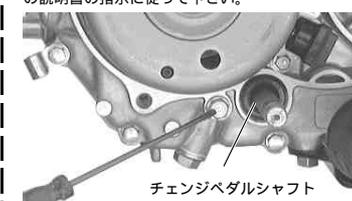
5. カムプロケットの取り付け



フライホイールのTマークをクランクケースの切
り欠き部に合わせる。



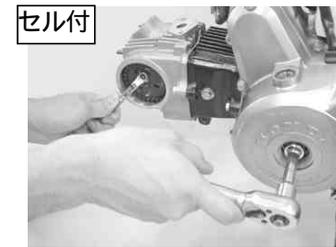
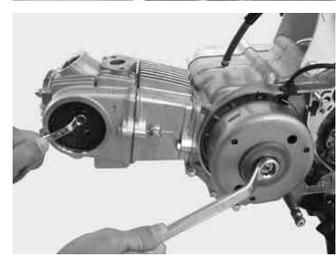
カムプロケットボルト穴をシリンダーヘッドの
切り欠き方向に向けたときカム山がピストン側を
向く様にかむシャフトをセットする。それがカム
シャフトの圧縮上死点です。
オプションカム取り付けの場合、オプションカム
の説明書の指示に従って下さい。



チェンジベダルシャフト
少しオイルが出てきますので
締めた後は拭き取して下さい。
チェンジベダルシャフトの横にある六角ボルトを
取り外す。(カムチェーンテンショナーが緩むので
カムチェーンをはめ易くなります。)



ここは難易度が高いです。
カムプロケットの'O'マークとシリンダー
ヘッドの切り欠き部とが合う様にカムチェーンを
かけ、カムシャフトに取り付ける。



フライホイールを固定してカムプロケットボル
トを2本締め付ける。
締め付けトルク 9 N・m (0.9 kgf・m)
使用工具
8mmメガネレンチ
14mmメガネレンチ
セル付
8mmメガネレンチ
14mmボックスレンチ&中ロングジョイント

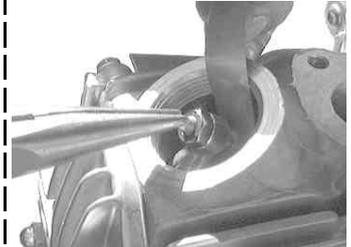
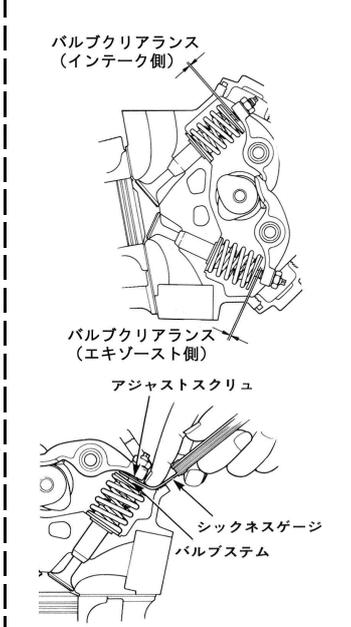
チェンジベダルシャフトの横に先程外したボルト
を取り付け、締め付ける。
締め付けトルク 10 N・m
(1.0 kgf・m)
使用工具
10mmボックスレンチ&中ロングジョイント
セル付
10mmスパナ

6. バルブタイミング調整とタペット調整

ここは難易度が高いです。

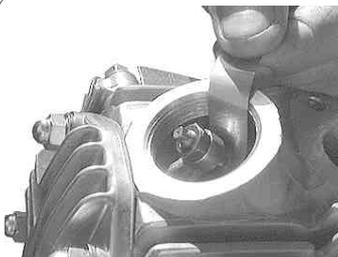


カムシャフトのOマークとフライホイールのT
マークがそれぞれの切りかきに合う様にして止
める。磁石の反発でフライホイールはピッタリ
と止まらないがカムプロケットを取り付けて
TマークとOマークが同時に合えばOK。

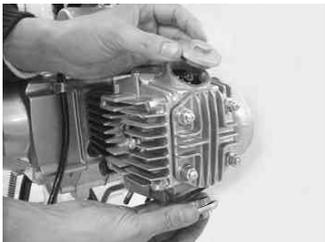


ロッカーアームのタペットスクリューを締め込
んでいきタペットスクリューとバルブステム
エンドの間に0.05ミリのシクネスゲージを入
れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合
わせてタペットナットを締め付ける(少し抵抗
があるというのわからない場合0.07と
0.03のシクネスゲージを用意して0.07
がずき間に入らず0.03がゆるく入る様に合
わせればだいたい0.05ミリということになる)
IN・EX共に0.05ミリに合わせる。
使用工具
ラジオペンチ、9mmメガネレンチ
シクネスゲージ
セル付は14mmボックスレンチ&中ロング
ジョイントでクランクを合わせます。

タペット調整後、反時計方向にフライホイール
を2回転手で回した後でTマークとOマークを
合わせる。



タペットすき間が変化していないか点検し、すき間が合っていればOK、くるっている場合は調整する。この作業を合うまで繰り返して下さい。

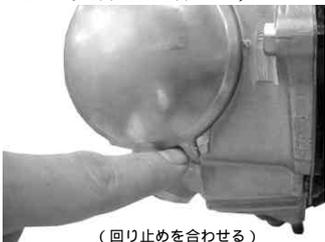


タペットキャップ2個を取り付ける。
使用工具 1.7mmメガネレンチ
締め付けトルク 1.2 N・m
(1.2 kgf・m)

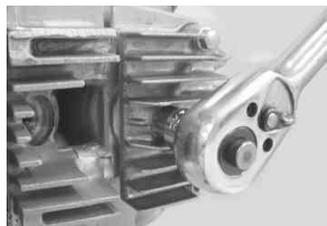
7. シリンダーヘッド左カバー取り付け



シリンダーヘッド左カバーガスケットと左カバーを取り付ける。
(左サイドカバーがボルトを締めるときに左回りにしないように回り止めを合わせる)



(回り止めを合わせる)



シリンダーヘッド右側の6角ボルト(矢印)を締める。
使用工具 10mmボックスレンチ
締め付けトルク 1.2 N・m
(1.2 kgf・m)

8. スパークプラグの取り付け



車載工具がプラグレンチを使いプラグを取り付ける。
使用工具 プラグレンチ
締め付けトルク 1.1 N・m
(1.1 kgf・m)
プラグキャップをプラグに取り付ける。

9. ノーマルマフラーの取り付け



マフラーをプレーキペダルとステップの間に通し、フランジ部をシリンダーヘッドの排気出口付近まで持って行く。
マフラーガスケットをシリンダーヘッドとマフラーの間に挟み込む様に入れる。マフラー本体をピボットシャフトに取り付ける。マフラー本体を止めるナットを締める。(指で締まる程度に仮止め)



E Xパイプ部のナット2個を締める。(仮止め)
使用工具 10mmスパナ

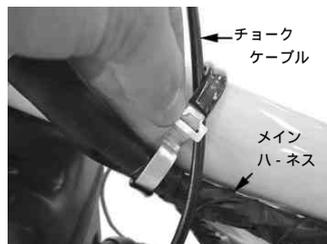


フランジ部と車体を止めるナットを締め付ける。
締め付けトルク：
フランジ部 10 N・m (1.0 kgf・m)
本体部 36 N・m (3.5 kgf・m)
使用工具 14mmメガネレンチ
リトルカップ 17mmメガネレンチ
仮止めの三カ所を締め付ける。

10. ノーマルキャブレターの取り付け



インレットパイプにOリングが付いている事を確認する。



チョークケーブルとメインハーネスをバンドで束ねます。



エアクリーナーをフレームに左右から1本ずつボルトで止める。
使用工具 10mmボックスレンチ&中ロングジョイント
締め付けトルク 10 N・m
(1.0 kgf・m)



ダクトを付けます。



シリンダーヘッドとインテークマニホールドを止めているボルト2本を取り付ける。
使用工具 8mmメガネレンチ
締め付けトルク 10 N・m
(1.0 kgf・m)



ホーンに線を取り付けます。

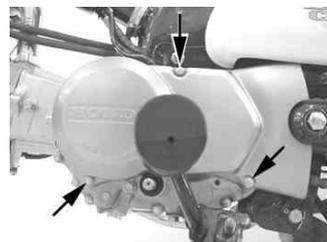


フューエルコックを2本のネジで取り付けます。
使用工具 プラスドライバー

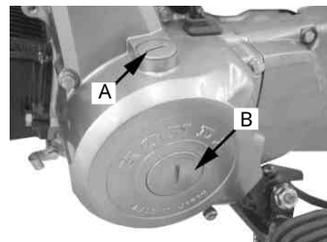


フューエルコックをONにする。

11. クランクケース左カバーの取り付け



クランクケース左カバーを止めているボルト3本を取り付ける。
使用工具 8mmボックスレンチ&ショートジョイント
締め付けトルク 10 N・m
(1.0 kgf・m)



セル付の場合は、A、Bの2つを取り付け、締め付けます。

使用工具 マイナスドライバー
締め付けトルク
A 2 N・m (0.2 kgf・m)
B 3 N・m (0.3 kgf・m)

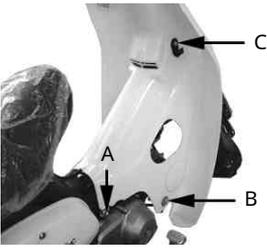


チェンジペダルを取り付ける。
使用工具 10mmメガネレンチ
締め付けトルク 10 N・m
(1.0 kgf・m)

エンジンやマフラー、インレットパイプ等、今まで付けたボルト類に緩みが無いか確認する。

12. レッグシールドの取り付け

レッグシールドの後部からフレームに当て、それから前部をはめていきます。



A部に12mmのふくらナットをレッグシールドとの間にプレートを挟んで締め付けます。B部に10mmの長ボルトをレッグシールドの裏にスペーサーを挟んで締め付けます。C部に10mmのボルトをワッシャを挟んで締め付けます。左側も同様に取り付けます。

使用工具

A : 12mmボックスレンチ
& 中ロングジョイント

B : 10mmボックスレンチ
& 中ロングジョイント

C : 10mmボックスレンチ

締め付けトルク

A : 20N・m (2.0kgf・m)

B、C : 10N・m (1.0kgf・m)



株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>